

〈生活科〉 2年

現在の分析

〈生活への関心・意欲・態度〉

- ・学習を広げるような発言や発見が活発に行われている。
- ・野菜づくりでは、生長を楽しみ、収穫を喜びながら日々世話ができた。
- ・すてき班(1・2年生縦割り班)活動では、1年生に楽しんでもらえるように工夫したり、優しく接したりすることができた。

〈活動や体験についての思考・表現・技能〉

- ・すてき班では、1年生が楽しめるゲームを考え、自分の役割を自覚し責任をもって取り組めた。学校案内では、自分たちも学校の各部屋が何に使われているかを再度見直し、説明できるように準備できた。
- ・野菜の世話や1年生とのすてき班での活動を通して、気付いたことや、自分なりに考えたり工夫したりしたことをカードにまとめることができた。

〈身近な環境や自分についての気付き〉

- ・植物の栽培を通し、植物は生命をもって生長していることに気付くことができた。
- ・1年生に親切に接しやりがいを感じながら、一緒に遊ぶことの楽しさにも気付くことができた。

重点課題

〈生活への関心・意欲・態度〉

- ・自分と身近な人々、社会や自然との関わりに継続的に関心・意欲をもてるようにすること。

〈活動や体験についての思考・判断〉

- ・体験を通して気付いたことを分かりやすく絵や文で表現し、活動を自分自身の生活に役立てるよう考える。
- ・友達の気付きを聞いて、自分の気付きを深められるようにすることが課題である。

〈身近な環境や自分についての気付き〉

- ・積極的な活動を通して、気づきの質・量を高めていくことが課題である。

授業改善策

〈生活への関心・意欲・態度〉

- ・1年生とのすてき班、木となかよし、公園探検などの体験学習を多く設定し、自分の気付きや、関わりを大切にする。
- ・授業の中で小グループでの話し合いを多く取り入れる。友達と交流する場を増やすことで、児童の興味、関心、意欲を高められるようにする。
- ・学習の目的を明確にし、発表会等の表現の場を多く設定することで意欲を高めるようにする。また一人一人の生活にかかわる思いを大事にすることで達成感・自己肯定感を得られるようにする。

〈活動や体験についての思考・判断〉

- ・具体的な活動や体験について考えたり、工夫したり、調べたり、表現したりする活動を十分に行う。まとめでは「もっと活動を、楽しくするために…」 「もっと知りたい」など、一人一人の思いや願いを抽出し、次の単元にさらに意欲をもって取り組めるようにする。
- ・自分の考えをもてるように、さまざまな経験や体験をしたことを、学習カードにまとめ振り返る時間を確保する。
- ・小グループでの話し合いや発表会など、友達と交流することで友達の考えのよいところに気付くことができるようにする。

〈身近な環境や自分についての気付き〉

- ・授業では、活動の過程を大切にし、絵や振り返りだけではなく、つぶやきや発言、思いを大切に拾っていく。さらにそれらを意図的に取り上げることによって、自分や友達のよさに気付いていけるようにする。
- ・「楽しかったよ2年生」では、自分の成長を支えてくれた人々と進んで交流し、具体的な思いや願いをもち、これからの生活に意欲がもてるようにする。そのために、家庭とも連携した学習計画を立てて活動する。